明るさとやさしさに満ちた豊渓中

豊　渓　中　だ　よ　り

練馬区立豊渓中学校
校　長　関根　奈美江
令和8年11月16日
第12号

「令和８年度　全国学力・学習調査」「学びに向う力」 まとめ

今年度実施されました全国学力・学習状況調査（3学年対象）の結果がまとまりました。この調査は学力だけではなく、生徒たちの学習意欲や生活態度、自己肯定感、人間関係など、多角的な視点から学校生活の実態を把握し、今後の指導や改善に活かすためのものです。

調査結果からは、本校の生徒たちが持つ素晴らしい強みと高い資質が鮮明になった一方で、今後学校全体で重点的に取り組むべき課題も明確になりました。区・都・全国の平均データと比較しながら、豊渓中学校の現状と今後の取組方針についてご報告いたします。

【質問紙調査から】生徒質問紙調査の主要項目における各地域の肯定的な回答割合

評価項目（質問内容）	豊渓中	練馬区	東京都	全国
Q8:自分にはよいところがある	97.5%	83.3%	84.7%	84.0%
Q10:将来の夢や目標をもっている	74.4%	65.5%	66.7%	67.6%
Q11:人が困っているときは、進んで助けている	87.2%	90.0%	90.1%	90.8%
Q12:いじめは、どんな理由があってもいけないことである	89.7%	94.4%	94.2%	95.1%
Q14:人の役に立つ人間になりたい	97.4%	95.1%	95.0%	95.9%
Q15:学校に行くのは楽しい	84.6%	87.2%	85.7%	85.4%
Q16:自分と違う意見について考えるのは楽しい	87.2%	79.8%	79.4%	78.6%
Q17:友達関係に満足している	79.5%	91.4%	91.1%	91.2%
Q20:学級では、人と違う意見を言っても否定されない	51.2%	63.2%	68.5%	67.5%
Q21:普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	89.8%	90.3%	91.0%	91.0%
Q33:地域や社会をよくするために何かしてみたい	79.5%	75.4%	78.2%	76.8%
Q39:課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる	76.9%	79.0%	80.3%	79.0%
Q46:周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題解決に取り組んでいる	94.8%	92.0%	92.4%	92.4%

～豊渓中生の誇るべき「強み」～

特に顕著であったのは本校生徒の「自己肯定感の高さ」と、「将来や社会貢献に対する意欲の強さ」です。

自分自身を肯定的に捉える「自分にはよいところがある」という問いに対して、本校生徒の97.5%が肯定的な回答でした。これは他平均を大きく上回る極めて高い数値です。ご家庭での温かい育みや、地域での励ましが生徒一人一人の自信として根付いている成果と言えます。（朝食を毎日食べている（94.8%）・ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている（71.8%）・毎日、同じくらいの時刻に起きている（92.3%）からも、ご家庭での温かい見守りがうかがえます。）

また、夢や社会貢献に向けた意識の高さも際立っています。「人の役に立つ人間になりたい」という問いには 97.4%の生徒が肯定的であり、「将来の夢や目標をもっている」生徒は74.4%と、いずれも他平均を超えています。

さらに、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と 87.2%の生徒が回答し、「周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」という問いには94.8%が肯定的に回答しています。多様な価値観に触れ、他者と力を合わせて物事に向き合う素地が十分に整っていることが窺えます。

～今後の「重点取組課題」～

高い意欲と豊かな協働性をもつ一方で、日々の学級生活や人間関係の安心感において、学校として真摯に受け止め改善すべき課題も見出されました。

最も重点的なアプローチが必要とされるのは、学級内での発言や表現に対する安心感です。「学級では、人と違う意見を言っても否定されない」という問いに対する本校生徒の肯定的な回答は 51.2%にとどまりました。これは全国・練馬区・東京都平均と比較して 12～16pt 低い数値です。「自分と違う意見について考えるのが楽しい」（87.2%）と感じている生徒が多い一方で、実際の教室の場では「自分の意見が否定されるかもしれない」という不安を抱えている現状が浮き彫りとなりました。

また、「学校に行くのは楽しい」は 84.6%、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」は 89.8%となっていますが、「友達関係に満足している」と回答した生徒の割合は 79.5%であり、他と比較すると約 12pt 低くなっています。

また、「人が困っているときは、進んで助けている」（87.2%）や「いじめは、どんな理由があってもいけないことである」（89.7%）といった規範意識や支援行動に関する問いにおいても、全国平均をやや下回る結果となりました。

ほかに、「人の役に立つ人間になりたい」という問いには 97.4%の生徒が肯定的でしたが、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答えた生徒は、他平均をわずかに上回ってはいるものの、79.5%にとどまっています。

さらに、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」という自主的な姿勢を示す回答は 76.9%であり、自律的な学習・生活習慣の確立に向けた働きかけも引き続き必要と考えます。

【学力調査から】どの教科も、最後まであきらめず取り組む姿勢が見られ、今回の結果につながったと考えます。生徒質問紙の関連項目と合わせて分析しました。

国語

平均正答率(%)	全体	学習指導要領の内容					評価の観点	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等				
		(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現
豊渓中	74	71.8	69.2	75.2	82.1	68.4	71.4	75.2
東京都	68	66.2	74.6	68.1	70.5	64.2	67.6	67.6
全国	63.9	63.0	70.4	63.9	67.4	59.7	64.2	63.7

およそ8割の生徒が国語の授業について満足していると回答し、6割を超える生徒が国語の勉強は好きだと回答しましたが、得意と回答した生徒は5割を切るという結果でした。

「情報の扱い方に関する事項」が国語の全領域の中で唯一、東京都・全国の両方を下回っわりましたが、全体では東京都を 6pt、全国を 10.1pt 上回る成績となりました。特に、「書くこと」と「思考・表現力」が高水準でした。

数学

平均正答率(%)	全体	学習指導要領の領域				評価の観点	
		A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現
豊渓中	64	74.4	54.5	64.1	60.9	69.4	48.1
東京都	62	71.0	56.9	59.2	57.7	67.4	45.8
全国	57.0	67.8	48.7	54.8	53.5	63.0	39.1

「図形」と「論理的説明を要する問題」に課題があるものの、数学が好き／得意と回答した生徒がおよそ6割、普段の生活で活用していると回答した生徒が 6 割を超え、学力調査の結果は、東京都を 2pt、全国を 7.0pt 上回る成績となりました。

また、8割を超える生徒が数学は将来的にも役立つと考えていることがわかりました。

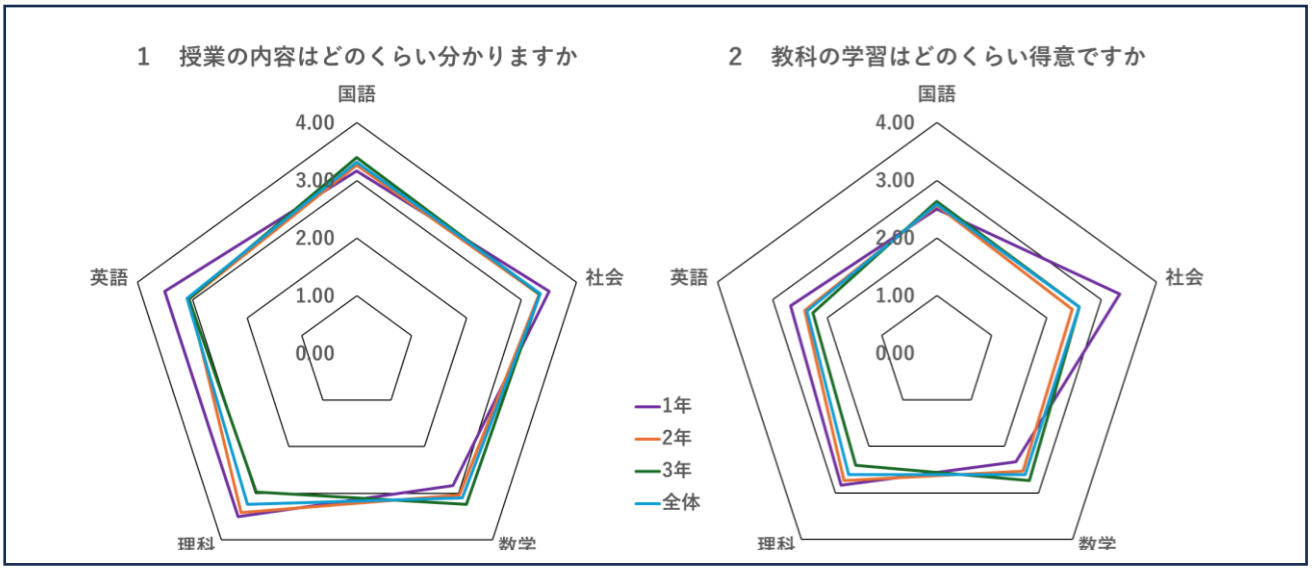
英語

	豊渓中	練馬区	東京都（公立）	全国（公立）
技能 3	541	545	530	499
技能 4	537	545	529	499

リスニングと口頭表現に課題が見られる結果となりましたが、メールの情報読み取り（正答率 100.0%）や物語の概要把握（正答率 83.3%）で高水準であり、全体としては英語3技能では東京都を 11、全国を 42、英語4技能では東京都を 8、全国を 38 上回りました。

また、95%の生徒が英語を学ぶことが将来的に役立つと考える一方で、英語の勉強は好きであると回答した生徒は6割弱（他平均より高い）、将来英語を活用する職業に就きたいと回答した生徒は4割を切るという結果でした。授業以外の場面で、日常的に英語を使う機会を増やしていく必要性があると考えます。

【学びに向かう力等に関する意識調査（全校生徒対象）から】（平均値：4 点満点）



① 授業の理解度は高い値を示していますが、「得意意識」は 2.4～2.6 となっており、「内容は分かっているものの、得意であるとまでは自信をもてていない」という自己効力感の差が見られました。

② 学習する理由（学習動機）については、「分かることやできることが楽しいから（3.2）」と「将来の仕事や生活に役立つから（3.2）」がトップであり、内発的な興味・関心と将来の目的意識が学習の主な原動力となっています。次いで「しっかりと考えられるようになりたいから（2.8）」「友達や先生と学習するのが楽しいから（2.8）」が続きます。

一方で、「先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから（2.0）」は最も低く、外発的な動機づけに頼らない傾向がうかがえました。

③ 学習の進め方（4つの観点）

観点	説明	点数
ねばり強く進める	確実にできるようになるまで、くり返し練習するなど、あきらめずに、ねばり強く取り組もうとする学習の進め方です。	2.9
工夫しながら進める	自分の学習を振り返り、どのようにすればもっとうまくできるかなどを考えて工夫しようとする学習の進め方です。	2.8
対話しながら進める	他の人に自分の考えを説明したり、分からないときに質問や相談をしたりしながら、自分の考えを広げ深めようとする学習の進め方です。	2.6
理解しながら進める	学習したことをただ覚えるだけでなく、考え方、言葉の意味、理由などを考えて、より深く理解しようとする学習の進め方です。	3.0

～学校における今後の取り組みと改善策～

1・心理的安全性を高める学級・授業づくりの推進

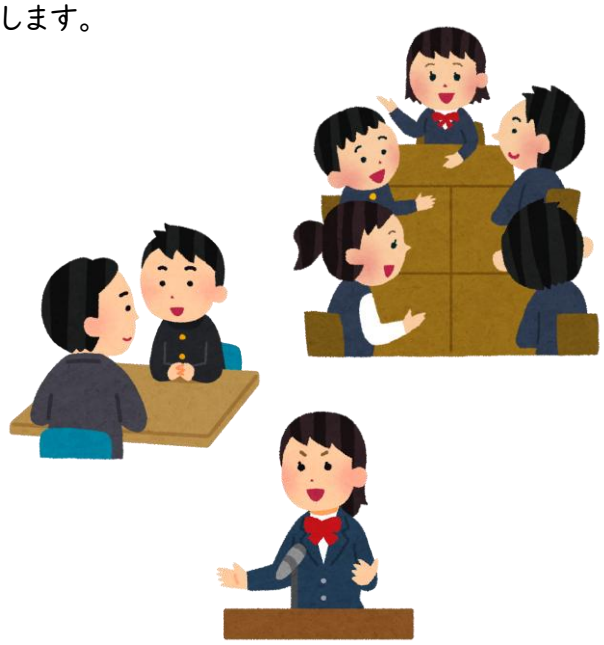
どんな意見であっても肯定的に受け止める「対話のルール」を全校で徹底します。

2・人間関係のケアと人権教育・道徳教育の充実

いじめの絶対否定や相手の気持ちに寄り添う心を育む道徳・学活の時間を強化し、信頼できる友人関係の構築を支援します。

3・主体的な学びと自己決定の機会の創出

自分で考え判断し、自発的に行動する力を養うため、授業内での探究学習や生徒会活動、行事運営における生徒主体の取組を拡大します。



～ご協力のお願い～

生徒たちがもつ「自分にはよいところがある」という高い自己肯定感や、「人の役に立ちたい」という志は、日頃の温かい見守りと声かけの賜物です。ご家庭におかれましても、以下の点について、さらなるご協力をお願いいたします。

☆お子様の意見や思いを否定せずに聴く時間の確保

学校で「自分の意見が否定されないか不安」と感じている生徒に対し、ご家庭が「どのような考えも受け止めてもらえる安心の場」となるよう、話にじっくり耳を傾ける関わりをお願いいたします。

☆小さな挑戦や人の役に立つ行動への承認

家庭や地域でのお手伝いや配慮ある行動に対して、「ありがとう」「助かったよ」という言葉をかけていただくことで、社会に貢献したいという思いが、より確かな自信へと繋がります。

生徒たちの健やかな成長には、学校での指導とともに、ご家庭や地域の皆様との連携が不可欠です。気になることがございましたらご連絡ください。今後とも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

